

令和6年3月25日



新吉田

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shinyoshida>

横浜市立新吉田小学校

600度の法則

校長 関谷 道代

116名の児童が、しっかりと卒業証書を受け取り、小学校を巣立っていきました。

卒業証書を受け取る子ども一人ひとりと、「ありがとう」「がんばったね」と、厳かな式の中で目で会話をします。子どもは、目をそらさずに私の手が添えられた証書をずっと自らの力で引いていきます。その瞬間、子どもの旅立ちです。

一抹の寂しさを感じながら、子ども達を見送り、ふと見上げると桜のつぼみが、己の咲くタイミングをカウントダウンしているように見えました。

桜は、2月1日から毎日の最高気温を足していくと、その積算気温が600度になった頃に、開花するという法則があると聞きました。平均気温の合計が400度を超えると開花するという法則もあるそうですが、私は、「最高気温を足していく」という考え方が好きです。

開花前年の夏には準備ができていて、秋から冬にかけて、生長しないように休眠状態に入って年を越します。十分に低温刺激を受けた後に気温がぐっと高まった段階で休眠から目覚めるというメカニズムに起因しているとのこと。いわゆる、休眠打破の積算を、毎日の「最高」で足していくという発想は前向きな気持ちにさせてくれます。

昨日は、今までできなかった算数の問題が、自力で解けた。
今日は、体育で力いっぱい走って自己ベストの記録が出た。

明日は、たくさん覚えた漢字テスト、満点取る！

桜の開花が夏から準備ができていたように、半年以上の期間の「最高」を積み重ねてきた6年生だからこそ、あんなに立派な卒業式ができたのだ、と合点がいました。

最高気温を足していったその先に、桜の花が咲き誇ります。

一日一日の「最高」を積み重ねていったその先に、自信に満ちた君たちがいます。

これからも、「今日の最高」を積み重ねる人生を送ってください。

今年度の「しんしょう・応援隊」の活動回数=536回。延べ活動人数=1251名。子ども達の「最高」を支える方々に心より感謝申し上げます。いつも一緒に悩んで、一緒に考えてくださった保護者の皆様。「助けて」と頼むとすぐに駆け付けてくださる地域の方々。自分にとって、5年前の冬からの月日を重ねた新吉田のまちは、あたたかく、情にもろく、大好きなまちになりました。

「最高」を足した600度。満開の春に幸あれ。

皆様にとって、さらに素敵な出会いがありますようお祈りいたします。心より、ありがとうございました。

